

第45回 九州口腔衛生学会総会 in大分

プログラム抄録集

別府の湯けむり



べっふ地獄めぐり
海地獄



大会テーマ

ニューノーマルにおける口腔の健康と健康寿命の延伸



特急 ゆばいの森



高崎山自然動物園

開催日時

令和5年9月3日(日) 9:00~15:00

開催場所


大分県歯科医師会館 3階講堂


大会長 脇田 晴彦 (大分県歯科医師会 会長)

準備委員長 谷口 之規 (大分県歯科医師会 理事)

目次

大会長挨拶	1
大会概要	2
参加者へのご案内	3
会場のご案内	4
基調講演①	5
一般演題発表（口頭発表）	6
一般演題発表（ポスター発表）	10
基調講演②	13
日本口腔衛生学会九州地方会・九州口腔衛生学会開催一覧	14

 クリックすると、本文の該当ページへ移動します

各ページ左上の  をクリックすると、目次に戻ります

ご 挨拶

第45回九州口腔衛生学会総会 大会長

一般社団法人 大分県歯科医師会 会長 脇田 晴彦

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

第45回九州口腔衛生学会総会を、大分の地で開催させていただきますことに感謝いたしますとともに、多くの皆様のご参加、心より歓迎申し上げます。また、会員の皆様が日頃より地域歯科保健活動に真摯に取り組まれておられることに対して、心から敬意を表する次第です。

さて、この第45回九州口腔衛生学会総会のテーマは「ニューノーマルにおける口腔の健康と健康寿命の延伸」です。

3年前から続く新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着き、政府も今年5月8日から、感染症法上の位置づけを、これまでの「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げています。コロナ禍での3年間では、リモートワークによる在宅勤務、遠隔授業、オンラインショッピングやデリバリーの増加といった、旧来の当たり前と思っていた行動様式が変化するとともに、人々のワークライフバランスの意識も大きく変わりました。そのため今回は、このコロナ禍以降の「新しい常態」(ニューノーマル)における口腔保健を主なテーマといたしました。

基調講演①では、宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科 埴岡 隆教授に「健康寿命の延伸は職域と地域をつなぐ産業歯科保健から」と題して、今後、健康寿命延伸には職域保健と地域保健とのニューノーマルについてのご講演をいただくとともに、一般発表をはさんで、基調講演②では、日本産業衛生学会九州地方会評議員 垣内 紀亮先生からは、「産業保健領域における歯科衛生の新たな展開 ～産業医からみた歯科医師に期待される役割について～」というテーマで、産業医としての立場から歯科保健の展開について講演していただきます。各講演を通じて、わが国でのこれからの歯科界の方向性など皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

その他、ポスター展示、企業展示等充実した内容を用意させていただいております。

最後に、本大会が参加された皆様にとって有益なものとなりますようご祈念いたしますとともに、開催に際しご協力・ご支援頂きました関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

第45回九州口腔衛生学会総会 概要

1 総会関連行事

令和5年9月2日(土)

- 16:00～17:00 常任幹事会(場所:大分県歯科医師会館 2階 中会議室)
- 17:00～18:00 幹事会(場所:大分県歯科医師会館 2階 中会議室)

2 総会および学術大会

令和5年9月3日(日)(場所:大分県歯科医師会館 3階 大講堂)

- 9:00～ 受付
- 9:30～9:55 総会・大会長挨拶
- 9:55～10:55 基調講演①
健康寿命の延伸は職域と地域をつなぐ産業歯科保健から
ー歯学教育クロニクルからみたニューノーマルへの挑戦ー
講師 宝塚医療大学 保健医療学部教授
福岡歯科大学 名誉教授 埴岡 隆 氏
- 11:00～12:40 一般演題・ポスター発表
一般演題8題 ポスター5題 計13題
- 12:40～13:30 休憩
- 13:30～14:30 基調講演②
産業保健領域における歯科衛生の新たな展開
～産業医からみた歯科医師に期待される役割について～
講師 日本産業衛生学会九州地方会 評議員
垣内 紀亮 氏
- 14:40～14:55 表彰式・閉会式

企業展示

- 9:30～15:00 企業展示(場所:大分県歯科医師会館 3階 ホール)

ポスター展示

- 9:30～15:00 ポスター展示(場所:大分県歯科医師会館 3階 ホール)
- (12:20～12:40) ポスターディスカッション

参加者へのご案内

1 総会

令和5年9月3日(日)9時30分から大分県歯科医師会館3階大講堂にて開催しますので、本学会会員の方はご出席ください。

会員以外の方も総会の妨げにならないように入場していただいて結構です。

2 当日参加費

歯科医師・医師 2,000円

その他職種 1,000円

※ 大分県歯科医師会会員及びそのスタッフ、歯学部学生、歯科衛生士専門学校生は無料

3 基調講演 ①

9:55～10:55 場所：3階 大講堂

総会終了後、開催します。

4 一般演題発表 (口頭発表・ポスター発表)

11:00～12:40 場所：3階 大講堂、ホール

1) 口頭発表

- ・スライドプロジェクターは、1台使用可能です。
- ・OS: Windows 10、アプリケーション: Powerpoint2019を準備いたします。
- ・発表者は、9時30分までに、受付にてデータ受付を完了してください。
- ・前の発表者が登壇したら、次演者席に着いてください。
- ・1演題につき、講演8分、質疑応答2分とします。時間を厳守し、進行は座長の指示に従ってください。

2) ポスター発表

- ・ポスターは9時30分までに所定の場所に掲示してください。
- ・ポスターディスカッションは12時20分から12時40分の間に行います。
発表者はポスターの前に立って、それぞれ質疑応答を行ってください。
- ・ポスターの撤去は、15時20分までをお願いします。

5 基調講演 ②

13:30～14:30 場所：3階 大講堂

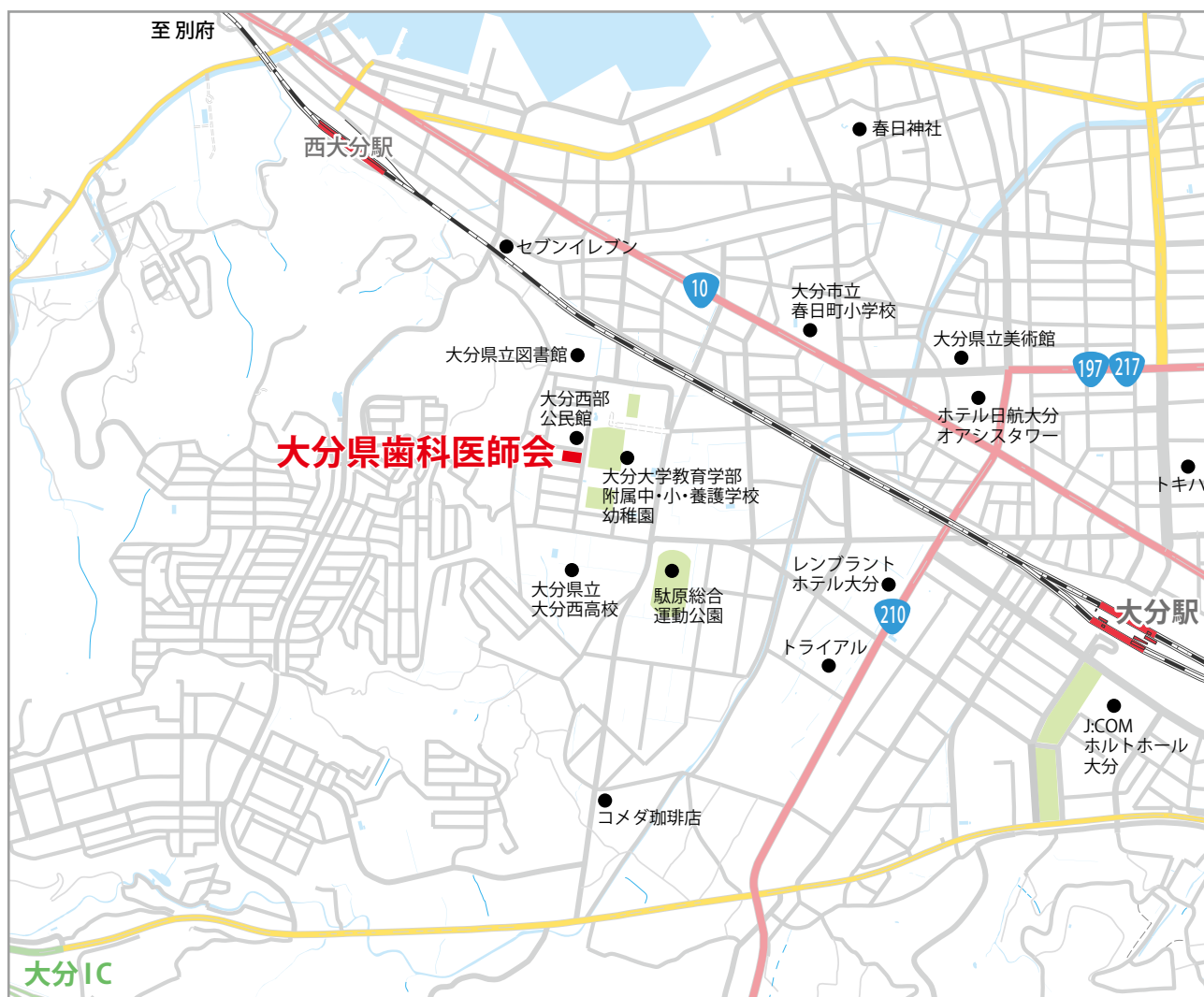
6 事後抄録の提出

発表者は、発表当日までに事後抄録(本文600字以内)を作成し、学会事務局(九州歯科大学)に電子メールでお送り下さい。本学会の入会手続きに関してもご相談下さい。

九州口腔衛生学会 事務局(事務担当: 茂山)

✉ r14shigeyama@fa.kyu-dent.ac.jp

会場のご案内



Googleマップは
こちらから

大分県歯科医師会館

住所：〒870-0819 大分県大分市王子新町6番1号
電話：(097) 545-3151 (代)

駐車場は、会館の裏手にございます。

基調講演① 9:55~10:55

健康寿命の延伸は職域と地域をつなぐ産業歯科保健から － 歯学教育クロニクルからみたニューノーマルへの挑戦 －

宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科

教授 埴岡 隆 (福岡歯科大学 名誉教授)

「産業衛生」の領域で歯科保健への注目が高まっています。産業歯科保健は歯学教育では「口腔衛生学」の母子・学校・地域・成人・国際の公衆衛生の各領域の歯科保健とともに配置されています。したがって、九州口腔衛生学会は、九州の産業歯科保健活動のリーダーシップをとるポジションにあるわけです。産業衛生の専門家が集まる日本産業衛生学会は、産業医部会、産業保健看護部会、産業衛生技術部会があり、2006年から産業歯科保健部会が加わりました。産業歯科保健部会の発足には、九州から産業医科大学の3名の医師が、そして、準備委員会には、私を含め2名の歯科医師と1名の歯科衛生士が加わり、産業歯科保健部会の発足に関わりました。

産業歯科保健への注目を受けて、九州地区の労働者の健康を支える産業歯科保健活動の今後の展開は、この九州口腔衛生学会に問われていると言えます。そこで、産業衛生の歯科保健への注目の背景を考えてみました。産業衛生にかかわる方々の意識の高まりの背景は様々ですが、私は、産業歯科保健への意識の高まりの背景を大きく2つに分けました。一つ目は、国民の口腔の健康への関心の高まりです。政策の基本となる政府の骨太の方針では、歯科保健への重点化が継続的に謳われてきました。もう一つは、産業衛生の領域が重視するキーワードに「ダイバーシティとインクルージョン」があることです。国民の多くは産業に従事しているので、口腔保健のインクルージョンは、産業衛生にとって大変重要な領域になってきたのだと私は考えます。

それでは、具体的に「口腔衛生学」のどの面から、歯科専門家が「産業衛生」の課題に向かい、期待に応えると良いのでしょうか。「口腔衛生学」の授業を担当してきた私が描く、2つの産業歯科保健の領域は、「特殊健康診断」と「保健指導」だと思います。私の講演では、まず、「私たちがこれまで受けた歯学教育の2つの領域の内容は、果たしてどんなのだったのだろうか」と振り返ります。次に、過去から現在にいたる、産業歯科保健の私の経験とこれからの挑戦のいくつかの例を紹介したいと思います。

私の講演が、口腔衛生学の教育、九州口腔衛生学会会員、九州地区歯科医師会会員、歯科学生の皆様の活動が、職域と地域をつなぐ健康寿命の延伸に関わる、来るべきニューノーマルへの挑戦に踏み出す第一歩となることを願っています。

略 歴

- 1981年 大阪大学歯学部卒業、予防歯科学講座
- 2000年 大阪大学 助教授
- 2002年 福岡歯科大学口腔保健学講座 教授
- 2022年 福岡歯科大学 名誉教授、宝塚医療大学 特別教授
- 2023年 宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科 教授

一般演題発表 口頭発表 11:00~12:20

11:00~11:40

座長：安細 敏弘 先生

(九州歯科大学 地域健康開発歯学分野 教授)

1. 高齢者における咬合力の左右差と転倒リスクとの関連について

○ 水谷 慎介 (ミズタニ シンスケ)¹⁾²⁾, 奥 菜央理³⁾¹⁾九州大学大学院歯学研究院附属 OBT 研究センター²⁾九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野³⁾九州大学病院高齢者歯科・全身管理歯科

転倒は、高齢者が要介護状態となる主な原因の一つである。本研究では、高齢者における咬合力の左右差と転倒リスクとの関連性を明らかにすることを目的とした。

九州大学病院を定期的に歯科受診する高齢者41名を対象とし、口腔機能（現在歯数、舌圧、舌口唇運動機能、咬合力等）の評価を行った。足圧センサープレートを用いて歩行時の足底圧を測定し、各患者の転倒リスクを評価した。転倒リスクの高い群（n=12）と低い群（n=29）に分け、口腔機能を比較したところ、リスクが高い群では、咬合力の左右差が有意に大きかった。

2. 高齢入院患者に対し歯科摂食嚥下リハチームによる口腔健康管理によって食事内容の改善に寄与した症例

○ 井上 昂也 (イノウエ スバル)¹⁾²⁾, 山添 淳一³⁾, 荻野 洋一郎⁴⁾, 神野 哲平¹⁾, 塚本 葉子⁵⁾, 萱野 綾華⁵⁾, 柏崎 晴彦³⁾⁶⁾, 竹下 徹²⁾, 和田 尚久¹⁾⁷⁾¹⁾九州大学病院口腔総合診療科²⁾九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野³⁾九州大学病院高齢者歯科・全身管理歯科⁴⁾九州大学大学院歯学研究院クラウンブリッジ補綴学分野⁵⁾九州大学病院医療技術部歯科衛生室⁶⁾九州大学大学院歯学研究院高齢者歯科学・全身管理歯科学分野⁷⁾九州大学大学院歯学研究院総合診療歯科学分野

高齢者の低栄養は口腔機能低下や食事の楽しみの減少が影響していることが報告されている。また入院患者の口腔衛生状態の悪化は肺炎のリスクとなるため、入院中の口腔健康管理は大切である。当院では各専門分野の歯科医師と歯科衛生士からなる歯科摂食嚥下リハチームが脳神経疾患や食道癌患者に対して口腔健康管理を行っている。

今回、高齢入院患者に対し歯科摂食嚥下リハチームによる継続した口腔健康管理を行ったことにより、食事内容が改善し食事へのモチベーション向上に寄与した症例を経験したので報告する。

口頭発表

3. 骨盤内未分化肉腫の既往がある重度歯科恐怖症患者の一例

○ 永井 悠介 (ナガイ ユウスケ)¹⁾²⁾, 森崎 重規¹⁾, 三宮 一仁¹⁾, 爲末 顕¹⁾, 内野 辰宏¹⁾, 陶山 直昭¹⁾, 吉岡 俊一¹⁾, 廣沢 恵介¹⁾, 谷口 俊太郎¹⁾, 後藤 嘉之¹⁾

¹⁾ 大分県歯科医師会 地域福祉委員会

²⁾ 大分県口腔保健センター

患者は20歳女性。16歳時に骨盤内未分化肉腫を発症、化学療法、陽子線治療後で現在、移動には車椅子を使用している。多数歯う蝕を認め、重度の歯科恐怖があることから静脈麻酔下で歯科治療を行った。

歯科恐怖症の原因の多くは医原性であるとされているが、本症例では、患者からの聴き取りにおいては過去に特別な歯科治療時の苦痛体験はなかった。一方で小児期の骨盤内未分化肉腫の治療経験が、その起因の一端となっている可能性が考えられた。このため同様の症例においては慎重な対応が求められると思われた。

4. BRONJ患者に対し歯科衛生士による口腔衛生管理にて急性症状なく1年経過した1例

○ 河野 花月 (カワノ カヅキ)、森崎 重規

医療法人鶴岡クリニック 歯科・口腔外科

BRONJは骨粗鬆症や骨転移の治療として使用した際の有害事象である。今回、顎下部蜂窩織炎を契機に顎骨壊死を診断し消炎後継続した口腔衛生管理により、再燃なく経過した症例を経験した。

症例は80代女性。下顎の疼痛を主訴にかかりつけ医から紹介受診。骨粗鬆症にて9年前よりアレンドロン酸5mg服用。X線検査で下顎骨の吸収像を認め、右側顎下部の蜂窩織炎あり切開消炎処置を施行。以後、処置を継続し義歯装着にて常食摂取が可能となった。一部に腐骨残留あるも歯科衛生士による口腔衛生管理により症状なく経過している。

口頭発表

11:40~12:20

座 長：谷口 之規 先生

(大分県歯科医師会 地域保健委員会 理事)

5. 大分県のフッ化物洗口事業について

○ 甲斐 大嘉 (カイ ヒロヨシ)¹⁾, 伊東 理夫¹⁾, 谷口 之規¹⁾, 吉武 孝拡¹⁾¹⁾ 大分県歯科医師会 地域保健委員会

近年、歯科疾患が及ぼすさまざまな影響が世界的に再認識されるようになり、2021年5月の世界保健機構(WHO)の第74回世界総会にて、口腔保健の決議が採択された。

大分県は子供のう蝕本数が少ない県ではない為、う蝕予防が重要です。中でも集団的予防としてフッ化物洗口は早急に、効果的に広げる必要がある。フッ化物洗口は、子供たちに対して早期から継続的に行われることが重要です。また、子どものフッ化物洗口には、家庭や学校、歯科医療機関の連携が不可欠です。定期的な歯磨き指導や、適切な食事習慣の確立など、総合的なアプローチが求められる。

そこで、本講演では、大分県におけるフッ化物洗口事業の進捗、これまでの流れについて報告をする。

6. 歯科医院におけるフッ化物洗口毎日法の実践とその成果

○ 戸高 勝之 (トダカ カツユキ)

NPO日F会員, 大分県歯科医師会, 佐伯市歯科医師会, 蒲江翔南学園歯科校医, 戸高歯科医院院長

人口1,300人ほどの漁村で医院を開業して今年で38年目になる。開業時から全ての来院患者にフッ化物洗口毎日法を勧めてきた。現在、子どもの9割、大人でも7割の方がフッ化物洗口毎日法を実践している。

その結果、ここ数年12歳児のう蝕有病者率約20%、DMF0.2~0.3を達成している。この数値は、昨年度全国平均にようやく並んだ当佐伯市平均の3分の1、開業以来目標としてきたう蝕予防先進国スウェーデンや22年連続日本一う蝕の少ない新潟県の数値に肩を並べるものである。

38年間の活動とその成果を発表する。

口頭発表

7. 非肥満者における飲酒量、高血糖と歯周病の関連性について

○ 楠 雄登 (クス ユウト)¹⁾, 古田 美智子¹⁾, 竹下 徹¹⁾

¹⁾九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座口腔予防医学分野

過度な飲酒は肥満や高血糖に関与し、また歯周病との関連性についても報告されている。しかし、これらの要因が複合的に歯周病に関連するかは分かっていない。

そこで、本研究では、企業歯科健診を受診した35～64歳の6,529人を対象とし、肥満者と非肥満者において、アルコール摂取量、血糖値と歯周組織状態の関連性を検討した。

重回帰分析の結果、非肥満者で高度飲酒と高血糖であると平均歯周ポケットが深いとの関連性が認められた ($B=0.092, p=0.036$)。非肥満者では多量飲酒と高血糖状態は相互的に作用して歯周組織状態を悪化させる可能性がある。

8. 妊産婦歯科健診受診率向上を目指した取り組み

○ 内藤 麻利江 (ナイトウ マリエ)¹⁾, 藤本 暁江¹⁾, 矢田部 尚子¹⁾, 島津 篤²⁾, 谷口 奈央¹⁾

¹⁾福岡歯科大学口腔保健学講座口腔健康科学分野

²⁾福岡歯科大学口腔保健学講座社会歯科学分野

妊産婦歯科健診で歯科健診および口腔保健指導を受けることは、母親自身だけでなく、生まれた子どもの口腔の健康に対して早い段階から意識をもつことができるという点でも重要である。

妊産婦歯科健診は現在、自治体の努力義務に委ねられており、福岡市では実施歯科医院にて無料で実施している。しかしながら、その受診率は、妊婦歯科健診で約40%、産婦歯科健診で約5%にとどまっている。

そこで今回、妊産婦歯科健診の受診率向上を目指し、早良区および西区を中心に受診勧奨のための取り組みを行ったので報告する。

一般演題発表 ポスター発表

P-1

口腔細胞へのタバコ成分および細菌病原曝露影響文献の系統的レビュー
第1報 細胞生存率について

○ 埴岡 隆 (ハニオカ タカシ)¹⁾²⁾, 谷口 奈央¹⁾, 内藤 麻利江¹⁾, 藤本 暁江¹⁾, 竹下 徹³⁾

¹⁾ 福岡歯科大学口腔保健学講座

²⁾ 宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科

³⁾ 九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野

ニコチンと口腔細菌由来リポ多糖 (LPS) の口腔細胞生存率への影響を検討した。2000-2023年の文献を検索し細胞生存状況を調べた研究は5編だった。

歯根膜線維芽細胞、歯肉線維芽細胞、口腔上皮細胞の生存率は、ニコチンおよびLPSの短期間曝露で相加的に一貫して低下し、歯肉内皮細胞の生存細胞数は6日間曝露で減少した。

燃烧式タバコ使用者の口腔には高病原性細菌が多く、加熱式タバコにニコチンが多く含まれていることから、喫煙者が燃烧式から加熱式タバコにスイッチする場合の口腔へのリスクの継続が懸念された。

P-2

歯科衛生学科学生への加熱式タバコに対する意識と禁煙指導への意欲との関連

○ 矢田部 尚子 (ヤタバ ナオコ)¹⁾, 島津 篤²⁾, 内藤 麻利江¹⁾, 藤本 暁江¹⁾, 谷口 奈央¹⁾

¹⁾ 福岡歯科大学口腔保健学講座口腔健康科学分野

²⁾ 福岡歯科大学口腔保健学講座社会歯科学分野

加熱式タバコの健康影響は未だ不明であるにも関わらず、概して健康影響や臭いなどが少ないと認識される傾向にある。そこで本研究では、歯科衛生学科学生178名を対象に、加熱式タバコに対する意識と禁煙支援への意欲との関連を検証する質問調査を実施した。

その結果、非喫煙者で喫煙に寛容な者は受動喫煙にも寛容であり、禁煙支援に消極的であることが明らかになった。全ての歯科衛生士が禁煙支援に積極的に取り組むために、喫煙に寛容である背景を追求し、教育内容等の改善を図ることの重要性が示唆された。

ポスター発表

P-3

フッ化物洗口の継続に関与する因子の検討

○ 廣島屋 貴俊 (ヒロシマヤ タカトシ)¹⁾²⁾, 栗野 孝子²⁾, 川越 住昭²⁾

¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科発生発達成育学講座予防歯科学分野

²⁾ 鹿児島県口腔保健支援センター

フッ化物洗口は学童期のう蝕予防対策法として知られているが、洗口の継続に関する報告は少ない。本研究ではフッ化物洗口の継続に関与する因子を明らかにするために、フッ化物洗口を実施している小学生の保護者にアンケートを実施した。

ロジスティック回帰分析の結果、中学校でのフッ化物洗口継続の希望は保護者のフッ化物に対する理解と有意な関連があり (オッズ比=6.13、95%信頼区間=3.6-10.47、 $p<0.01$)、フッ化物洗口の継続には保護者のフッ化物に対する理解が重要であることが示された。

P-4

福岡市の産婦歯科健診受診者の口腔の健康状態

○ 劉 中憲 (リュウ チュウケン)¹⁾, 古田 美智子¹⁾²⁾, 安元 信也¹⁾, 中野 誠之¹⁾, 池田 正博¹⁾, 木南 意澄¹⁾, 小原 浩司¹⁾, 石倉 行男¹⁾, 田中 一吉¹⁾, 森谷 圭介¹⁾, 花水 麻美¹⁾, 牛島 瑛久¹⁾, 晴佐久 悟¹⁾³⁾, 三島 公彦¹⁾, 鎮守 信弘¹⁾, 原田 武洋¹⁾, 大福 達郎¹⁾, 平川 実¹⁾, 岡部 優花⁴⁾, 神田 晋爾¹⁾

¹⁾ 福岡市歯科医師会公衆衛生委員会

²⁾ 九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野

³⁾ 福岡看護大学

⁴⁾ 福岡市保健医療局保健医療部口腔保健支援センター

出産後、母親は育児の負担が大きく、口腔衛生管理が疎かとなり、口腔の健康状態が悪化する可能性がある。

福岡市では産婦の口腔の健康状態の維持増進を目的とした産婦歯科健診を2021年度から開始し、福岡市歯科医師会は委託を受けて歯科健診を実施している。

2021年7月～2023年2月は2,172人 (平均年齢 32.9 ± 4.5 歳) が歯科健診を受診した。今回、産婦の口腔の健康状態を評価した結果、未処置歯の保有者は949人 (43.7%)、歯周ポケット深さ (PD) 4～5mmがあった者は1,201人 (55.3%)、PDが6mm以上の者は280人 (12.9%) で、産婦はう蝕や歯周病の有病率が高かった。

ポスター発表

P-5

生活者目線でみた歯磨きの様子の歴史的検証－江戸時代以降

○ 大石 郁人 (オオイシ アヤト)¹⁾, 高木 唯衣¹⁾, 木村 啓¹⁾, 安細 敏弘¹⁾

¹⁾九州歯科大学地域健康開発歯学分野

人はいつ頃から歯を磨くようになったのだろうか。

紀元前3000年の王の墓から歯の清掃に用いたと思われる黄金の小楊枝が発見されており、古代インドのスシュルタ本典には歯木としてニームという常緑樹の枝先を房楊枝状にして用いていたという記述がある。

現在、歯磨きといえば、歯ブラシや歯磨剤が必須アイテムであるが、洗面所やうがい用コップといった環境面も必要である。

そこで、本研究では、庶民の目線で歯磨きの様子をビジュアルライズすることを目的として歴史的な検証を行ったので報告する。

基調講演②

13:30～14:30

産業保健領域における歯科衛生の新たな展開 ～産業医からみた歯科医師に期待される役割について～

日本産業衛生学会九州地方会 評議員 垣内 紀亮

産業保健の職場のイメージを伝え、「歯科医」と「産業医」との距離を縮めることを本講演の目的とします。背景として、塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素等、歯又はその支持組織に有害な物ガス、蒸気又は粉じんを発生する場所での業務に従事している場合、歯科医師による健康診断を受けることが労働者に対し義務付けられており、令和4年10月1日からの労働安全衛生規則の一部改正により50人未満の事業所の場合、毎年実施している歯科健診の報告義務が課せられるようになった。一方で、「令和元年度歯科健診実施状況自主点検の結果」によると、酸等の取扱い事業場における歯科健診実施状況は、50人未満の事業場では、実施率22.5%と歯科特殊検診実施が少ない状況です。

上記背景もあり、今後、産業衛生への関心が高まり、歯科医と産業医をはじめとした産業保健スタッフとの連携が重要になってくると考えられるため、産業医活動の実際について述べます。最初に、産業医の職場巡視や現場写真を中心に話題提供をし、次いで3つのキーワードを元に産業医活動への理解を深めていただければと思います。

- 1 歯牙酸蝕症と産業保健（化学物質管理・法改正に伴う対応のポイント）
- 2 口腔外科領域疾患における産業医の復職支援（両立支援）
- 3 健康経営と歯科衛生について

産業医活動で歯科・口腔外科疾患への対応や歯科医との連携が必要になる機会は現時点では多くないですが、今後は増えるものと考えます。口腔衛生の向上は、健康増進・生産性や労働環境の向上につながるため、歯科疾患予防と口腔機能維持、口腔保健のための行動変容、そして全身への健康・生活習慣改善が労働者の高齢化も進むため、ますます重要な健康管理項目になると考えられますので、今後の産業保健領域での新たな展開について触れたいと思います。

略 歴 等

2002年	産業医科大学 医学部医学科卒業	● 日本医師会認定産業医
2004年	新日本製鐵株式会社君津製鐵所産業医修練医	● 日本産業衛生学会 産業衛生指導医 専門医
2005年	産業医科大学産業生態科学研究所作業病態学研究室専門修練医を経て	● 社会医学系専門医協会 指導医 専門医
2007年6月～	ダイハツ九州株式会社 総務・人事部 安全衛生環境室 担当員 産業医	● 労働衛生コンサルタント（保健衛生）
2014年4月～	ダイハツ工業株式会社 ダイハツGr 九州開発センター診療所所長（兼務現職）	● 日本産業衛生学会 代議員
2018年1月～	ダイハツ九州株式会社 総務・人事部 安全衛生推進室 主査 産業医	● 日本産業衛生学会九州地方会評議員
2021年4月～	ダイハツ九州株式会社 総務・人事部 安全衛生推進室 主査 統括産業医	● 日本産業衛生学会産業医部会大分県理事
		● 福岡産業保健総合支援センター相談員
		● 産業医科大学 特命講師 （ストレス関連疾患予防センター）
		● 福岡県産業医学協議会 委員

受 賞 歴

・中央労働災害防止協会 緑十字賞（令和3年度）

日本口腔衛生学会九州地方会・九州口腔衛生学会開催一覧

回	年	開催地	主催	会長
第1回	昭和54年	福岡市	九州大学歯学部	森岡 俊夫
第2回	昭和55年	北九州市	九州歯科大学	佐伯 栄一
第3回	昭和56年	福岡市	福岡歯科大学	吉嗣 国男
第4回	昭和57年	鹿児島市	鹿児島大学歯学部	井上 昌一
第5回	昭和58年	長崎市	長崎大学歯学部	高木 興氏
第6回	昭和59年	別府市	別府女子短期大学	荷宮 文夫
第7回	昭和60年	宮崎市	宮崎県歯科医師会	鎌田 政秀
第8回	昭和61年	熊本市	熊本県歯科医師会	宇治 寿康
第9回	昭和62年	佐賀市	佐賀県歯科医師会	門司 健
第10回	昭和63年	福岡市	九州大学歯学部	森岡 俊夫
第11回	平成元年	浦添市	沖縄県歯科医師会	西平 守広
第12回	平成2年	北九州市	九州歯科大学	竹原 直道
第13回	平成3年	福岡市	九州大学歯学部	森岡 俊夫
第14回	平成4年	鹿児島市	鹿児島県歯科医師会	瀬口 紀夫
第15回	平成5年	福岡市	福岡歯科大学	境 脩
第16回	平成6年	佐世保市	佐世保市歯科医師会	岡 真吉
第17回	平成7年	大分市	大分県歯科医師会	吉村 益見
第18回	平成8年	福岡市	九州大学歯学部	古賀敏比古
第19回	平成9年	福岡市	福岡市歯科医師会	秋山 治夫
第20回	平成10年	鹿児島市	鹿児島大学歯学部	井上 昌一
第21回	平成11年	熊本市	熊本県歯科医師会	高森 経義
第22回	平成12年	北九州市	九州歯科大学	竹原 直道
第23回	平成13年	福岡市	九州大学大学院歯学研究院	古賀敏比古
第24回	平成14年	鹿児島市	鹿児島県歯科医師会	四元 貢
第25回	平成15年	長崎市	長崎県歯科医師会	道津 剛佑
第26回	平成16年	那覇市	沖縄県歯科医師会	新城 啓和
第27回	平成17年	佐賀市	佐賀県歯科医師会	寺尾 隆治
第28回	平成18年	宮崎市	宮崎県歯科医師会	田島 逸男
第29回	平成19年	福岡市	福岡市歯科医師会	山本 達雄
第30回	平成20年	大分市	大分県歯科医師会	丸尾 道彦
第31回	平成21年	北九州市	九州歯科大学	竹原 直道
第32回	平成22年	長崎市	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	齋藤 俊行
第33回	平成23年	熊本市	熊本県歯科医師会	浦田 健二
第34回	平成24年	鹿児島市	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	於保 孝彦
第35回	平成25年	福岡市	福岡歯科大学	埴岡 隆
第36回	平成26年	宮崎市	宮崎県歯科医師会	重城 正敏
第37回	平成27年	長崎市	長崎県歯科医師会	許斐 義彦
第38回	平成28年	福岡市	九州大学大学院歯学研究院	山下 喜久
第39回	平成29年	佐賀市	佐賀県歯科医師会	寺尾 隆治
第40回	平成30年	鹿児島市	鹿児島県歯科医師会	伊地知博史
第41回	令和元年	北九州市	九州歯科大学	安細 敏弘
第42回	令和2年	オンライン	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	齋藤 俊行
第43回	令和3年	オンライン	沖縄県歯科医師会	米須 敦子
第44回	令和4年	福岡市	福岡市歯科医師会	神田 晋爾
第45回	令和5年	大分市	大分県歯科医師会	脇田 晴彦

Kawaryo Group



歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、
企業ができることの一つとして、限りある資源を大切に
そして有効に利用していくことがあります。
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株) KAWARYO九州

0120-920-942

HP <http://www.kawaryo-q.co.jp> ▶▶▶



九州本社 熊本県熊本市西区田崎本町10-4
〒860-0052 TEL 096-356-2578 / FAX 096-274-1221

福岡支社 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11-1F
〒812-0053 TEL 092-409-2418 / FAX 092-409-2427

鹿児島営業所 鹿児島県鹿児島市魚見町112-12
〒891-0112 TEL 099-297-6938 / FAX 099-297-6935

沖縄営業所 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12
〒901-2214 TEL 098-897-4002 / FAX 098-988-0248

Kawaryo Group Organization

(株) KAWARYO PGM

〒431-1103
静岡県浜松市西区湖東町 5849
TEL : 053-486-2660 / FAX : 053-486-2665

ユタカ(株)

〒616-8165
京都府京都市右京区太秦桂ヶ原町 20-3
TEL : 075-406-7341 / FAX : 075-406-7342

(株) ピージーエム・プラス

〒770-0045
徳島県徳島市南庄町2丁目 24-1
TEL : 088-679-8162 / FAX : 088-679-8163

歯科DX 『夢』 実現

Digital Transformation

～日立AI 音声認識技術活用～
音声テキスト化 Recwareと連携

AI・音声電子カルテ

「会話録音・文章化」診療トラブル防止!!

新発売

夢のシステム誕生

創立45周年
特別割引キャンペーン
【期間：2023年5月～2024年3月まで】

AI・音声歯周病検査システム P-Voice

業務効率・生産性向上

歯周病 検査と記録も一人でOK!!

スマートグラス ～メガネ型のウェアラブルデバイス

診療科目	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
診療科目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査結果	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

メガネのようにかけるだけで
目の前に大画面が現れる

チェアサイドに
モニターやiPadがなくても
音声入力の画面確認ができる



- ① 視線を下げて検査
- ② 結果を音声入力
- ③ 視線を上げて確認



[4172]



AI・音声お問い合わせ先
0120-108-588



東和ハイシス 検索

TEL 086-243-3003

第45回

九州口腔衛生学会の開催
誠におめでとうございます

大分県歯科用品商組合

衛藤歯科商店

株式会社オリエンタル歯科器材

フォルディ株式会社

有限会社豊前歯科商店

株式会社松井商会

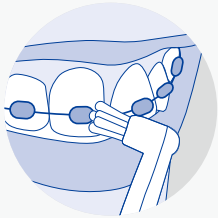
株式会社UKデンタル 大分店

歯にも歯肉にも すみずみまで、優しく

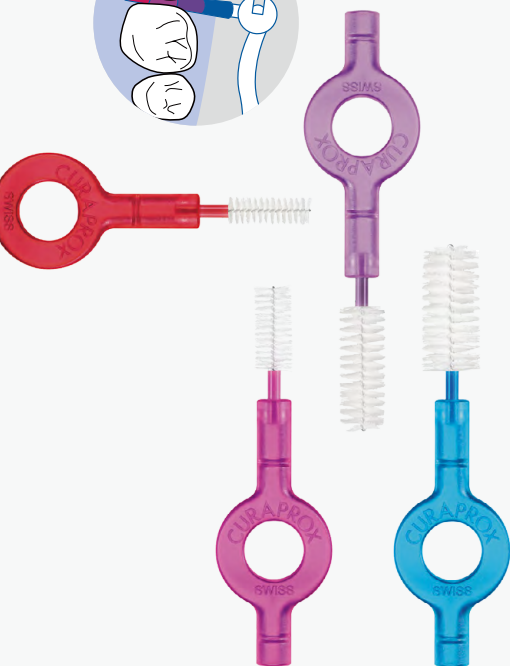
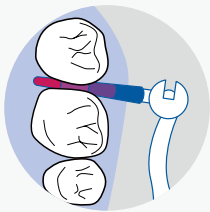
クラブロックスの歯ブラシ・音波式電動歯ブラシは
クーレン® 繊維の超極細毛による優しい磨き心地が
特徴です。

Hydrosonic Pro

So professional, so versatile, so simple:



CPS perio



POWER

HYDROSONIC

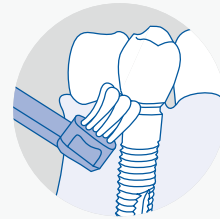


▲詳細はこちらから

CS 5460

CURAPROX ultra soft

CS 708 implant | ortho



CS 1009

SWISS PREMIUM ORAL CARE



Mercedes EQ

電気自動車に、圧倒的な満足を。



Mercedes-Benz

メルセデスの電気自動車全モデル試乗可能です。メルセデス・ベンツ大分ショールームでお尋ねください。

※写真はイメージです。実際とは異なります。



詳しくはこちら
Mercedes EQ

メルセデス・ベンツ正規販売店
メルセデス・ベンツ大分
大分ヤナセ(株)
〒870-0011 大分市王子町(大分県医師会館となり)
☎ 097-536-0005

ホテル日航大分 オアシスタワー

地上101m 大分のランドマークタワー 上質なおもてなしと安心・安全なホテルステイ



◆大分市街地や別府湾を望む客室 ◆大小宴会場 全15会場あり
◆「iichiko 総合文化センター」「大分県立美術館 OPAM」は同じ建物
当ホテルの『SDGs/安心・安全の取り組み』詳しくはこちらから ▶▶▶



《 宴会・会議・MICE のお問い合わせ 》 tel 097-533-5910

大分県大分市高砂町 2-48 tel 097-533-4411 (代表)

<https://www.nikko-oita.oasistower.co.jp>

ご予約は、ホテル公式HPのこちらからどうぞ。





Thinking ahead. Focused on life.



その笑顔の
きっかけは
あなたかもしれない

目の前の人への さりげないひと言
どんなときでも 忘れない気遣い

日常となったあなたのその行動は
小さなことかもしれないけれど

ひとつひとつが
患者さんの笑顔をつくっている

その笑顔は
いつかみんなに広がって
未来は 少しずつ変わっていく

わたしたちは信じています
小さなことの大きな意味を

株式会社モリタ | 株式会社モリタ製作所 | 株式会社モリタ東京製作所
www.dental-plaza.com



損保ジャパン

SOMPO Innovation for Wellbeing

Innovation for Wellbeing

すべての人々の幸せと、より良い社会のために。
私たちは、笑顔と活力あふれる「確かな明日」へ、
イノベーションを起こし続けます。



企業展示

東和ハイシステム株式会社 様 [webサイトへ](#)

株式会社 KAWARYO 九州 様 [webサイトへ](#)

アサヒプリテック株式会社 様 [webサイトへ](#)

第45回九州口腔衛生学会総会 プログラム抄録集

令和5年8月発行

大会長：脇田 晴彦

第45回九州口腔衛生学会総会 実行委員会
大分県歯科医師会 内

〒870-0819 大分市王子新町6番1号
電話 097-545-3151 FAX 097-545-3155
